

講演会「スポーツ用補助具の現状と未来」

スポーツと用具は互いに不可欠な関係にあります。この用具を使う側と作る側が相互に連携し、スポーツは時を経るごとに進化し、洗練され、見る側をも魅了してきました。そして今や進化した用具は従来のスポーツの枠を越え、パラリンピックやさらには超人スポーツといった新領域のスポーツを生んでいます。これら新領域のスポーツは競技者の身体能力の障壁を下げ、誰もが同じフィールドでスポーツを楽しめる点が特徴です。そのため従来のスポーツよりも将来は裾野の広い市場となり、繊維業界がファッションや素材の点で新規ビジネスを展開できるものと期待します。

本セミナーではこれらのスポーツ分野の第一人者に現在の取り組みとその将来についてお話を戴きます。この分野にご興味をお持ちの方、イノベーションを模索されている方は、是非ご参加くださいますようお願いしております。

【期 日】2019年1月10日(木) 10.00~15.55

【会 場】大阪科学技術センタービル(大阪市西区靱本町1-8-4) <http://www.ostec.or.jp/ostec-room/>

【内 容】予定

(1)「障がい者スポーツの歴史と工学による貢献」(10.00~11.00)

川村義肢(株)技術推進部 K-Tech 主席技師 松田 靖史

東京オリパラを前に障がい者スポーツが注目されています。義足のジャンパーは健常者に迫る距離を跳び、車いすマラソンは健常者より早く2時間を切っています。これは障がい者が進化したのではなく、福祉機器(義肢装具や車いす)が競技機材に進化した結果であり、工学の貢献ゆえです。障がい者スポーツの昔から今を解説します。

(2)「アスリート向け競技用義足の開発」(11.10~12.10)

(株)今仙技術研究所 技術部 技術2課 義肢装具士 浜田 篤至

用具を使用するパラスポーツにおいて、競技用義足の代表格「板バネ」とはどういったものかを解説します。また、競技用義足を使う上で重要な「スポーツ用義足のアライメント」とは何か、またその研究から生まれる次世代の板バネについて紹介します。

(3) 基調講演「超人スポーツを創る」(13.10~14.40)

東京大学 先端科学技術研究センター 教授 稲見 昌彦

近代スポーツは産業革命後に一般に普及した。情報革命を迎えていると言われて現在の、スポーツはどのように変わるのだろうか?本講演では、人間拡張工学による人機一体の新たなスポーツ「超人スポーツ」に関し紹介するとともに、スポーツ創造と身体の未来に関し具体例を示しつつ論じる。

(4)「補助具によるスポーツ体験の拡張」(14.55~15.55)

広島大学 大学院工学研究科 生体システム論研究室 教授 栗田 雄一

本講演では、これまでリハビリや作業支援など限られた用途に使われていた運動アシスト機器を、トレーニング効果を向上させたりスポーツシーンを盛り上げたりするウェアラブル機器と捉え直し、人工筋を利用した運動支援スーツによるスポーツ体験の拡張に応用した研究成果と今後の展望について紹介します。

【協 賛】大阪染色協会

【定 員】40名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

【参加費】会員 15,000円, 協賛団体会員 15,000円, 非会員 25,000円,
学生会員 1,000円, 学生非会員 3,000円(税別)

【申 込】①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上,
FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

【申込先】日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル 6F
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

2019年1月10日(木) 開催
講演会「スポーツ用補助具の現状と未来」

フリガナ

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

繊維分野の就業年数 _____ 年

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____

E-mail : _____

会員種別 : _____

連絡事項

今後、本学会からの開催行事案内メール配信を

_____ 希望する ・ 希望しない _____

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail : _____